

《保利建設社から大切なお客様と、未来のお客様へお届けする情報誌》

平成29年
2月28日発行
Vol. 38

ほりけん通信

3月号

発行人：㈱保利建設社
糸島市東1437-2
TEL:092-822-4779
FAX:092-822-4799
編集長：保利千晴

社長コラム

～ 家族と共に歩んできた家づくり② ～

皆さまこんにちは。いつも「ほりけん通信」をご覧いただきありがとうございます。

先月号に引き続き、カイケンコーポレーションの鹿児島県さつま工場での勉強会で聴いてきた京都の渋谷さんの体験談のお話をさせていただきます。

リフォームしたての中古マンションに住みだした頃、ちょうど産まれた男の子に発症したアトピーがどうしても治らない。困り果てた渋谷さんは、知り合いから「良いところがあるから行ってごらん。」と紹介され、当時「良い」と聞くと何でも試していた渋谷さんは、病院と思い紹介された所へ行ってみました。待合室には怪しげな柄のタペストリーが掛けてあり、別室に通されるとチェーンがついた水晶みたいな石をブ～ラブラ。「怪しい所にきてしまったなあ。」と思ったそうですが、そこで言われた言葉は「原因は家にある！」

その頃、家については素人の渋谷さんは最初何のことかわからなかったそうです。しかしマンションにいると確かに子供さんは痒がる。それから出来るだけ外出するようにし、夜中にも奥さんと交代で散歩に出かけるようにしたそうです。

しかしそれにも限界があり「もうここには暮らせない！」と思われた渋谷さん家族は急ぎょ、化学物質の揮発が終わったと思われるかなり古い賃貸物件を見つけそこに引っ越しをされました。そうすると子供さんの肌に反応がでることがなくなり子供さんの機嫌も良くなったそうです。

「もうこれは自然素材の家を建てるしかない！」と言うことでいろいろ勉強して、調べて、自然素材のハウスメーカーや工務店を廻り、そこで出会ったのが京都で私たちと同じ素材で家を作っているハウス工房さんでした。渋谷さん一家にとって「初めて安心できそうな建材での家づくりが出来そうだった。」とおっしゃっていました。まずはこれまでにハウス工房さんが建てたお客様の家に案内してもらい、そこで赤ちゃんの反応を見るというテストを何回もしてそこで反応がないことを確かめ「これだ！」と確信がもてたそうです。

あんなにガサガサだった子供さんの肌も今ではつるつるになっています。

実は私も若いころ肌がガサガサで痒かったので子供さんの写真を見せられた時はショックで「ワー！」という気持ちでした。そしてこの話を聞いて「ほんとに治って良かったな～」と思いました。

私たちはこれからも、こう言うアトピーやぜんそくでお悩みの方のためにも本当に健康な住まいのご提案をしていかなければならないと改めて感じた勉強会でした。

代表取締役 保利 重勝

ほりけんの 男子クッキング

菜の花と
ゆで卵の和え物



材料 (4人分)

- ・菜の花 … 300g
- ・卵 … 4個

- ※ (
- ・しょうゆ … 大さじ3
 - ・エキストラバージンオイル … 大さじ2



《作り方》

- ① 菜の花は固い部分を切り、水に浸してパリッとさせ、塩少々(分量外)を加えた熱湯でゆでて水で冷やして水気を絞って2~3等分に切っておく。
- ② 卵は半熟にゆで(室温に戻し、沸騰湯に入れて弱火で6~7分)水で冷やして殻をき、粗くくずしておく。
- ③ ※をよくかき混ぜたものを①に入れよく和える。
- ④ ③に②を加え、そっと和えるように混ぜて出来上がり。



編集後記

「吹き出物の正体！」



皆さまこんにちは。実は、最近背中に大きな「吹き出物」が出来まして…いつか良くなるだろうと放っておいたら、こぶし大くらいの広さに赤く腫れて炎症し、痛みも出てきたので、慌てて近所の皮膚科へ駆け込みました。

診断は「粉瘤腫(ふんりゅうしゅ)」というモノでした。

皮膚の中に袋ができて老廃物がたまった状態らしく、出来てしまう人は多いそうです。特に悪いものではないので、腫れたりしなければ放っておいてもいいのですが、傷が入ったりしてばい菌などが入ると炎症を起こして腫れてしまうことが多いそうです。私は…傷が入ってしまったのでしょうか(笑)

結局、腫れがひどかったので切開して処置をした方がよいという事になりましたが、駆け込んだ皮膚科では外科的処置はできないということでしたので、後日また別の病院へ行くことになりました。

私の中では…「パッと行ってチャチャッと切ってもらってサッと帰れる」くらいの軽い気持ちで行ったのですが、手術日が一週間後に決まり(担当の先生のスケジュールが詰まっていたので)局部麻酔をするので、手術日の前に術前検査をし…、手術日の前日は「絶飲食」。予想以上に重たい感じになってしまってドキドキしています。

(母は覚えていませんでしたが)そう言えば小学生の時に頭に吹き出物ができて大学病院で切開して取った事も、18歳の頃首の後ろに吹き出物ができて切開して取ってもらった事もありました。今思えば、これも同じ粉瘤腫だったのだと思います。来週が手術日ですが、背中なので痛くて仰向けに寝れないのでは…と不安ですが(笑)頑張って取ってもらってきます!!

編集長：保利千晴

株式会社 保利建設社

〒819-1122 福岡県糸島市東1437-2

TEL (092) 322-4779 Email: info@horikenhome.jp

FAX (092) 322-4799 URL : http://horikenhome.jp/

幻の漆喰

音響熱気木材

漆喰屋

糸島の空気がうまい家

検索



QRコード



保育園の多目的ホールが上棟しました

先月号からお伝えしています保育園の「空気がうまい多目的ホール」の建築工事現場の様子です。

今回は木工事の中でも先月行った棟上げの様子をご紹介します。棟上げの当日は快晴で絶好の「棟上げ日和」でした。

ほりけんの
家づくり
～保育園編～

②



小屋組みの組立の様子です。昔から体育館や納屋など部屋の中に柱を建てず大きな空間を作るときに用いる工法です。

事前に組み立てておいた三角の小屋組み部分をクレーンで吊って桁の上に置いて組立ていきます。

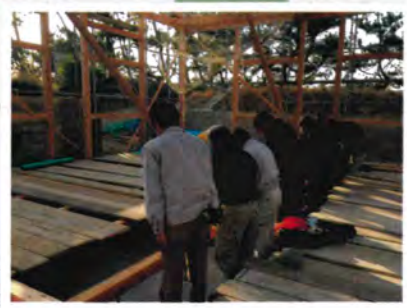
①



クレーン車を使って構造材を組み立てている様子です。

棟上げの前日にコンクリートの基礎の上に敷いておいた桧の土台の上に音響熟成木材の4寸柱を建て、その上に桁と呼ばれる横向きの木材をクレーンで吊って組立ていきます。

③



屋根の下地まで組み上げてこの日の作業は終了です。祭壇に向かい拝礼を行ない、子供たちが楽しみにしていた餅まきの始まりです。

あっという間でしたが、屋根から大工さんたちが投げる餅に子供たちは大盛り上がりでした。

④



今回の「ほりけんの家づくり～保育園編～」では木工事の棟上げの様子をお伝えしました。次回は「内装仕上げ工事」のご紹介をする予定です。お楽しみに～！





重要な「斜めの部材」

木造の建物の構造材のお話です。
家を木に例えるならば基礎は「根」。
その上に立つ構造材は「幹」と言えるでしょう。
今回はその構造材の中でも特に「筋かい」や「火打ち」などの斜めの部材に注目してみましょう。



筋交い (すじかい)

土台の上に柱を建ててその上に桁という横向きの木材をのせます。
それだけでは台風や地震などの横向きの力がかかったときに建物は倒れてしまいます。
そこで力を発揮するのが「斜めの部材」の筋交いです。
筋交いをバランスよく入れることで建物全体を強固にします。



火打土台 (ひうちどだい)

土台の隅のところに斜めに入れる部材です。
地震などで建物が変形するのを防ぐ部材です。
火打土台には45×90の部材を一般的には使いますが当社では120×120の部材を使用しています。
柱の上部の桁に取り付けるものを火打ち梁といいます。



しっかり固定しているから安心です!



真東小屋組 (しんづかこやぐみ)

室内に大きな空間を必要とするときに用いる、洋風トラスの真東小屋組にも一番上にあるハの字型の「合掌」と下が建物の内側を向いた「方杖」という斜めの部材があります。
トラスの構造は各部分に圧縮と引張の力がバランスよくかかるようにつられています。

木造在来工法においては「斜めの部材」は大変重要な役割をしていることが分かりますよね。
なお、木造在来工法の他にも様々な工法があり筋交い等を使わない工法もあります。

